

推計に用いたデータ

基準年人口	令和2年国勢調査確定値（令和2年10月1日）
将来の出生率	仙台市保健統計年報より、平成26年から平成30年の5歳階級別出生率を計算し、その平均値について正規分布補完により各歳の出生率を算出した。この数値が将来にわたり一定で推移するものとした。
将来の出生性比	平成27年から令和元年までの全国の出生性比の平均値が、将来にわたり一定で推移するものとした。
将来の生残率	2015年宮城県生残率（生命表・厚生労働省）を基準に、国立社会保障・人口問題研究所の5歳階級生残率推計値（2015年から2040年の25年間）の変化を加味し、設定した。
将来の移動率	平成26年10月から平成30年9月における住民基本台帳の移動数から、男女、年齢別平均純移動率を算出した。この数値が将来にわたり一定の割合で縮小するものとした。

※特に断りがない場合は仙台市の数値を利用しています。

※新型コロナウイルス感染症による人口動態への影響を勘案し、令和2年10月から令和3年9月までの住民基本台帳の増減を反映させています。

※小学校区別の推計においては、移動率以外は各学区の所在する区の設定値を利用しました。移動率については、推計を安定させるため、クラスター分析を行い似た傾向を持つ小学校区にはまとめて同じ数値を設定しました。

※中学校区別の推計については、改めてコーホート要因法で計算せず、小学校区別の結果から面積按分で計算しました。